

平成 31 年度学校法人藤村学園事業報告書

(認定こども園旭幼稚園・あすなる保育園)

I. 法人の概要

1. 建学の精神

人間性豊かな園児の育成

《教育方針》

人間としての礎が作られるかけがえのない幼児期に、最もふさわしい保育環境の中で、人とのかかわりに配慮した心豊かな経験を積むことによって、意欲と思いやりを持った素直な子の育みを目指す。

2. 沿革

昭和 11 年 4 月 1 日	東京都王子区に旭幼稚園として東京都の認可を受け開設。
昭和 19 年 5 月 1 日	太平洋戦争により空襲がはげしくなり、幼稚園閉鎖する。
昭和 28 年 4 月 1 日	山口市矢原 1121 番地（現在地）へ旭幼稚園を再建する。
昭和 49 年 1 月 1 日	学校法人藤村学園となり旭幼稚園を設置する。
平成 30 年 3 月 26 日	学校法人藤村学園認定こども園旭幼稚園となり、あすなる保育園を併設する。

3. 設置する学校

認定こども園旭幼稚園

設置する保育施設

あすなる保育園

◎設置する部門・園児数の状況（令和元年 5 月 1 日現在）

部門名	年齢	園児数
旭幼稚園	年長（4 クラス）	114
	年中（4 クラス）	119
	年少（4 クラス）	120
あすなる保育園	2 歳児（1 クラス）	22
	1 歳児（1 クラス）	15
	0 歳児（1 クラス）	4
計	15 クラス	394

◎役員等の概要（令和元年5月1日現在）

職名	定数
理事長	1
理事	6
監事	2
評議員	13

◎設置する施設の教職員数（令和元年5月1日現在）

	本務 教諭	本務 職員	小計	兼務 教諭	兼務 職員	小計	合計
旭幼稚園	22	3	25	17	15	32	57
あすなろ保育園	12		12	4		4	16

II.事業の概要

- 1.認定こども園における幼児教育・保育・乳児教育
- 2.移行2年目になるが園児募集も保育も安定して順調に推移している。
- 3.施設の状況

園地の総面積	7,966 m ²
園庭面積	2,792 m ²
園舎面積	2,222 m ²
(前年度変更なし)	

4.年間行事

入園式、卒園式、誕生会（毎月）、避難訓練（毎月）、園外保育、お泊り保育、すいか割り、運動会、幼稚園まつり、SL遠足、バス遠足、クリスマス発表会、豆まき、ひなまつりなかよし会

5.当該年度の重要な契約

- 北園舎外装塗装工事…清水建設
- 北園舎屋上防水工事…清水建設
- ・係争事件等については一切ない。
- ・決算後に生じた学校法人の重要な事実もない。

Ⅲ.事業報告

1. 事業報告

◎認定こども園旭幼稚園

旭幼稚園は幼稚園として昭和 28 年に現在地に設立し、今年で 67 年になります。そして、昨年平成 30 年 4 月より認定こども園としてスタートし、幼稚園児（1 号認定児）保育園児（2 号認定児）が在籍し、午後 2 時までは、子ども達は何ら違和感なく楽しく過ごしています。2 年経ちますと 1 号、2 号それぞれ自分たちの居場所を心得て行動できるようになりました。大きな成長と思います。

◎あすなろ保育園

旭幼稚園は認定こども園となり、保育園「あすなろ保育園」を併設しました。初めての経験で職員も研修等を重ね準備して平成 30 年 4 月を迎えました。随分緊張のスタートでしたが、子ども達の成長に支えられ無事 2 年を終える事ができました。職員の頑張りもありますが、園の試行錯誤にもかかわらず支援いただいた保護者の方のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

2 年の経験を生かしてさらに皆様に喜んで安心してお子様を預けていただける保育園にしたいと思います。

2. 教職員の採用

最近幼稚園教諭の採用が難しいと言われる中、平成 31 年採用試験ではとても良い学生が 3 名採用できて喜んでいきます。良く指導して才能を伸ばして、保護者や子ども達からも信頼される先生に育てていきたいと思ひます。

3. 施設・設備の整備

子ども達にとって安心して安全に遊び学べる施設・設備は幼稚園経営の基本です。その為に毎年整備の予算を組んで施行すると同時に将来の園舎建替えも計画を立て基本金という積立金の準備をしております。また、その長期計画に合わせて園舎の延命のメンテナンスも毎年計画を立てて行っています。

4. 未就園児の支援

SunSun キッズ、SunSun ベビーという子育て支援の会をつくり、月に 2~3 回開催しています。申込みが多くなかなか全ての方にご参加いただくのは難しいところです。色々な工夫を重ね、多くの方にご参加いただき好評で、入園面接でも SunSun キッズ、SunSun ベビーが良かったとの声をたくさん聞けてうれしく思っております。

5. 和の文化

裏千家の茶道を山口市でも有名な井上宗葉先生にご指導いただいて10年、前田宗和先生にご指導いただいて2年目になります。本格的な茶道と礼を子ども達に教えていただき、子どもといえども本物を教える大切さを改めて感じています。

私（園長）は、詩吟を30年近くやっていますが、かつて年長のあるクラスで「富士山」という詩吟を教え、誕生会で披露し、保護者の方にも大好評を博したことがあります。なかなか忙しくてやろうと言いつつも出来ていませんが、また教えようと思っております。

6. 職員研修

メインの職員研修は大阪からやまなみ幼稚園の田中先生を招き、土曜日、日曜日2日間かけてみっちり研修指導していただきました。保護者懇談のやり方、保護者の保育参加、新人教諭の育て方等職員も経験だけではなく理論を学ぶことで大いに力を得ています。

また、幼稚園協会、県のキャリアアップ研修、山口市幼稚園連盟の研修等勉強の機会をとらえて職員を参加させ、レベルアップさせています。

7. 幼保小連携

4年前、近くの小学校より県教委派遣の教諭をお迎えして幼保小連携について学んでいただくと同時に多くの事（小学校教育について）を教えていただきました。年長児をいかに成長させて小学校へ送るか、夏休み前お泊り保育を行った際近くの小学校へ行き実際の授業に子ども達を参加させていただき小学校への期待を高めました。

それ以外にも連絡協議会等へ参加し情報交換し、スムーズに小学校へ上がれるよう、日々の保育にも心がけています。

8. 食育の推進

旭幼稚園はどこよりも素晴らしい給食施設を持っています。

以前は外部業者によるお弁当給食を実施していたが子ども達の食べ残しがあまりにも多いのに頭を痛め、ぜひ自園調理の温かい給食を提供したいという思いから給食施設をつくり、中には子ども達が楽しく給食を食べられるランチルームも設けました。

北九州市の浅川幼稚園さんから和食のすばらしさを教えていただき、和食の良さを生かした給食を目指しています。そして子どものころから味覚の記憶を植え付けたいと思っています。

9. ICT化の推進（情報通信技術）

教職員の働き方改革、労働時間軽減の上から、ICT導入は必須です。今やパソコンだけでなく、音声をそのまま文字、文章化でき、実際に使っている幼稚園もあります。スマホ、電子黒板等検討して導入し、今後職員が幼児教育、保育に専念できるようにしたいと思います。

10. 防災

旭幼稚園では避難訓練を毎月1回行っています。（年12回）

火災、水害、地震、津波、不審者等交互に実施し、子ども達も年中、年長児は体で覚えてきています。しかし、災害は忘れたころにやってくる、突発的なものであるから毎回設定を変えて真剣に取り組んでいます。また、保護者への災害時の子どもの引き渡しについても実地で訓練に織り込んでいます。保護者の迎えのみ引き渡しをするが、安全が確認できるまでは園内へ親子で留め置く方針です。

終わりに当たって理事長より報告させていただきます。

「私学経営は基本無借金経営である」をモットーに藤村学園も経営に力を注いでおります。

来年度からは、基本金2号をスタートし長期計画を立て、将来の園舎改築に備えております。しかしながら、幼稚園は学校であるので基本の教育経費の投資も全国平均を維持し、バランスのとれた経営をしております。

近年は、旭幼稚園の卒園児の父兄が増えているのも伝統の重みを身をもって感じているところでもあります。全職員一丸となって旭幼稚園の幼児教育をさらに発展させていきたいと思っております。